

 十全化学株式会社

本 社 富山市木場町1番10号 TEL:076-433-1111 FAX:076-432-1165

東京支店 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル3階 TEL:03-3591-7613 FAX:03-3591-7635

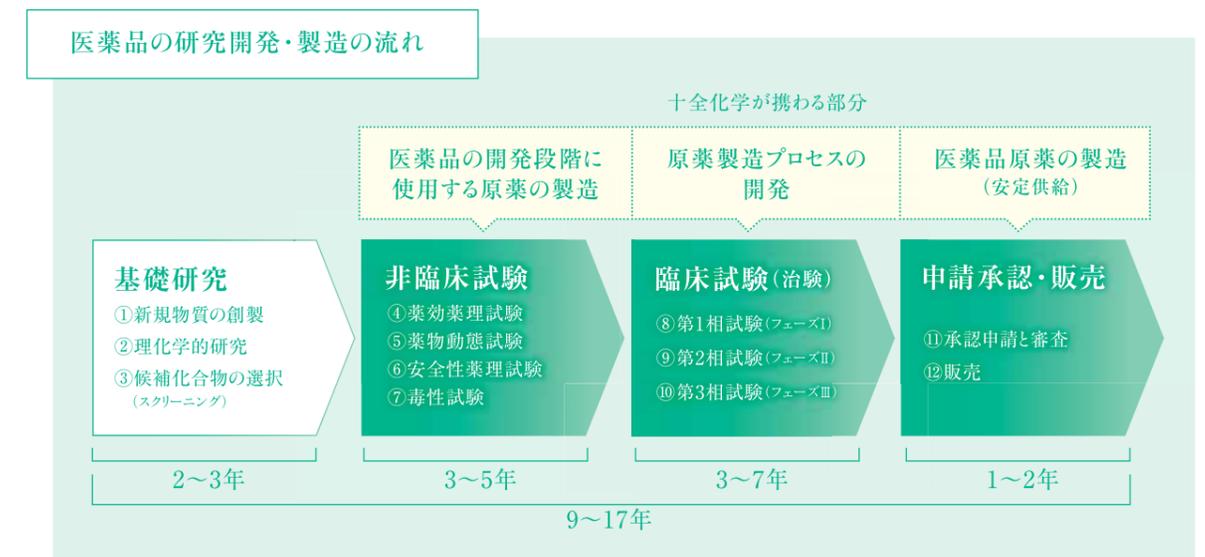
URL : <http://www.juzen-chem.co.jp/>

J U Z E N

十全化学は、
GMP^{*}に基づく品質基準と
多彩な合成技術で
医薬品のアウトソーシングに
お応えします。

製薬メーカーの皆様が中間体、原薬、製剤それぞれのアウトソーシングを積極的かつ戦略的に展開されている中で、
弊社は原薬や重要中間体の受託製造の専門メーカーとして、
これまでの経験とノウハウをフルに活用し、新薬開発から既存薬のあらゆるステージのアウトソーシングに対して、お客様のご要望に的確に応えています。

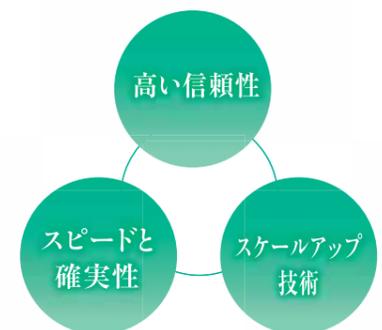
十全化学は、製薬会社様からのご依頼を受けて、非臨床試験の段階から、薬としての可能性のある化合物を合成、スケールアップ検討、安定試験等を行い、医薬品の有効成分である原薬の開発、製造を行うことで、薬が早く患者様に届くように日々努力しています。
また、臨床試験を経て、承認された医薬品の原薬を安定的に供給することで、日本はもちろん世界中の人々の健康に貢献しています。



製薬メーカー様にとって最重要事項である
新薬開発関連の試製品受託業務に力を入れています。

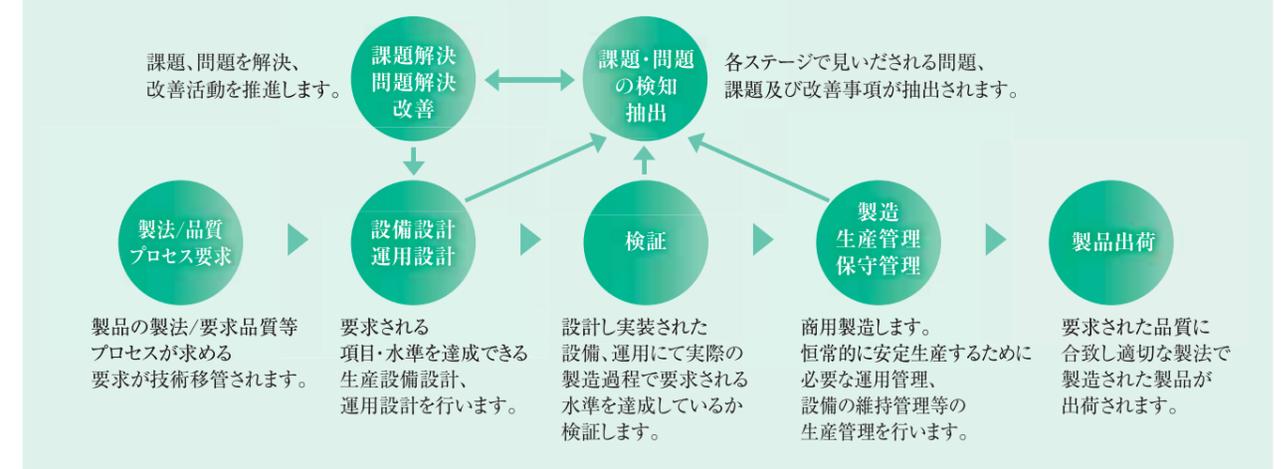
1. スピードと確実性
2. 高度な有機合成のスケールアップ技術
3. 信頼性の高い対応を可能にするGMP体制と治験用原薬受託システム

いずれが欠けてもお客様のご期待に添うことはできません。
十全化学は常にこれらの基盤のブラッシュアップに努め、お客様が国際展開可能な新薬をスピーディーに開発できるようお手伝いしています。



安全・安心、品質向上を常に目指しながら
原薬の創製を通して世の人々の健康に貢献します。

製造部門の仕事 生産設備／運用構築から製造～製品出荷の流れ



製造部の職種

生産技術職

工場で生産している品目に対して、安定生産や問題解決に向けた技術的な支援や、新規品目製造・新工場建設などのプロジェクトの推進を担う部署です。プロジェクト成功の際には大きな達成感があります。

製造部オペレーター

活躍のフィールドはモノづくりの最前線。各プラントに配属され、制御室と現場の作業員で連携しながら原薬の製造を進めます。モノづくりの愉しさ、喜びをダイレクトに感じられる仕事です。将来的には、マネージャーや生産管理スタッフとして工場の運用管理を行います。

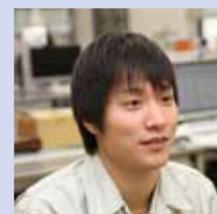
工場のご紹介

※JPP:JUZEN PHARMACEUTICAL PLANT



- 商用製造に先立って、製品の製法、求められる品質、生産性、コスト、安全性を考慮し最適な生産設備設計、運用設計を行います。
- 1バッチあたり数10kg～数100kgの製品を数百ℓ～数千ℓの反応設備、固液分離設備、乾燥設備等の化学機械を組み合わせ製造します。
- 商用製造では、日々プラントより得られる運転データ、品質データ、改善活動から、求められる品質水準に合致した製品を効率良く安定生産できるよう適切に管理します。

voice 01. 先輩の声



製造部 生産技術課
2013年入社／工学部／材料開発工学科卒

仕事内容 安定した医薬品製造に向けて新規の設備及び技術の検討を行っています。

やりがい・喜び 自分が担当した設備が導入されて、問題なく稼働したときには達成感を感じます。また、現場の方から「前より使いやすい」、「作業が楽になった」と声をかけられることもあり、とても励みになります。

当社のおすすめポイント 気さくな人ばかりでアットホームな雰囲気な職場です。皆さんと会える日を楽しみにしています。

製造部門

製造部門は、製薬会社から委託を受けた原薬、重要中間体の製造を行っております。生産活動は、生産性、品質、コスト、安定供給、安全など多様な観点からプラントを安定的に、効率よく稼働させることが求められます。そのために、化学合成、化学工学的な知識・技術はもちろんのこと、設備管理、生産管理、安全管理および医薬品原薬を製造するためにGMP管理等の様々な管理手法を駆使し、また遵守しながら安定生産に努めています。





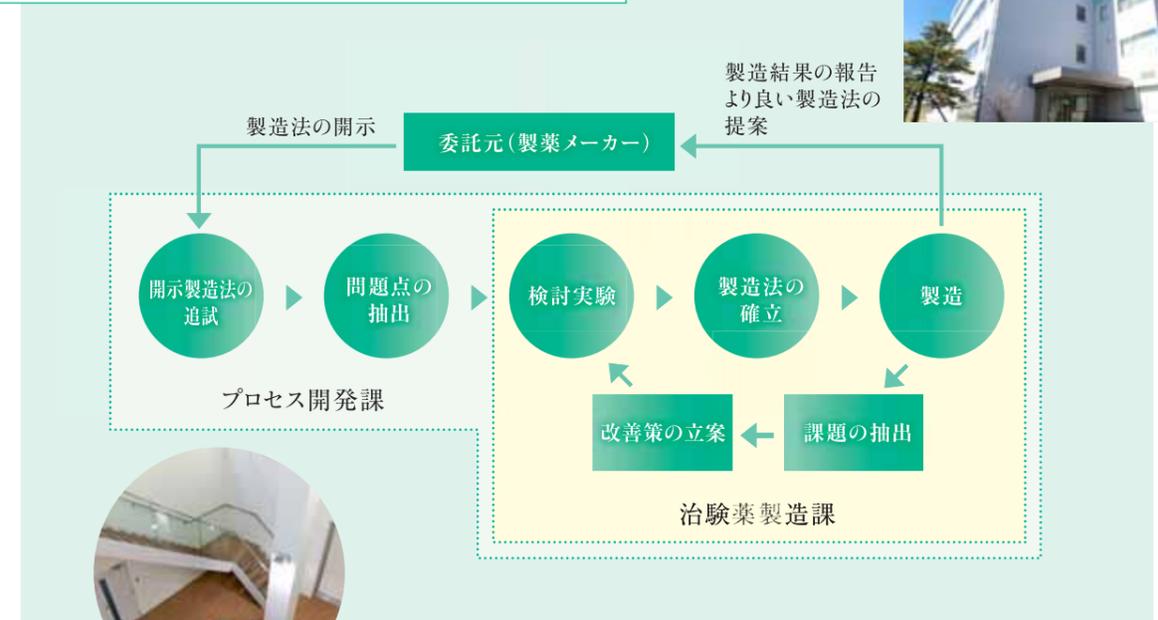
研究開発部門

十全化学は、新薬の開発期間短縮および原薬製造の効率化に寄与すべく、約50名の研究スタッフが、長年培ってきたプロセスケミストリーとプロセスエンジニアリングの知識をベースに、安全かつ堅牢で、しかも生産性の高いプロセスの研究開発を行っております。GMPと製造設備を熟知した研究スタッフは、ラボ検討の段階から実機での製造を想定した実験を行い、スケールアップの際に生じる様々な問題点を事前に洗い出すことで、確実に迅速な治験原薬の供給とスムーズな商業生産への移行を強力にサポートしていきます。



研究開発部門は、プロセス研究を通して新薬開発と患者様の健康に貢献しています。

研究開発部門の仕事 トレース実験から製造までの流れ



主要設備



一般実験室



封じ込め対応
クリーン実験室



安全性評価実験室



ウォークインドラフト型
実験室



開発分析室

voice 02.

先輩の声



研究開発部 プロセス開発課
2011年入社 / 理工学教育部 / 化学専攻修了

仕事内容

工場での医薬品原薬の製造方法を確立するため、少量スケールでの検討実験を主に行っています。

やりがい・喜び

自分が実験を担当した製品が、工場で順調に製造されたときに、大きな達成感と、さらに新しい挑戦への意欲がわいてきます。またその医薬品がいずれ世の中で患者様に処方されるかもしれないと考え、楽しみでやりがいのある仕事です。

当社の おすすめポイント

先輩や上司とも気軽にコミュニケーションできるような良い雰囲気の職場です。また、1週間程度の海外研修制度もあり、とても良い経験になります。



品質管理部門

品質管理部門は十全化学の企業理念である『安全・安心・信頼を第一義とする』に基づき、医薬品を服用する患者さんの安全、安心を確保するため、信頼のできる原料や製品の品質をチェックしています。

仕事のひとつに、製品(医薬品原薬)を作るために必要な原料が、製造に適した品質であることを試験で確認する業務があります。

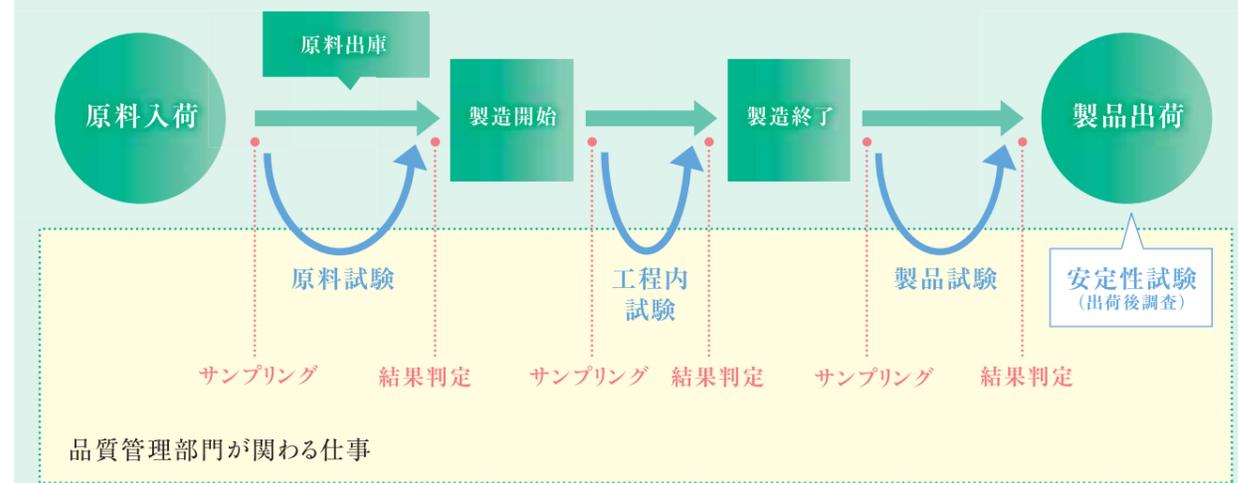
もし製造に適さない原料であれば、使用することを止めることも、品質管理部門の重要な役割のひとつです。

また、製造した製品のトレンド管理(品質のばらつきをチェックすること)を行い、常に同じ品質のものが製造されていることも確認しています。



原料から製品まで、品質を常に監視・管理することが、品質管理部門の大きな使命です。

品質管理部門の仕事 原料が入荷して製品ができるまで



主要な分析機器

- 高速液体クロマトグラフ (HPLC)
- ガスクロマトグラフ (GC)
- イオンクロマトグラフ
- LC/MS
- 赤外分光光度計 (IR)
- 核磁気共鳴装置 (NMR) 等

品質管理部門の組織

品質管理部

- 試験課** 商用医薬品原薬製造にかかわる試験分析を担当しています。
- 治験薬課** 医薬品になる前の薬の卵である治験薬の試験分析を担当しています。
- 管理課** 品質試験を行うためのサンプリングや分析機器の点検管理、試験成績書等の文書作成、管理を行っています。

voice 03.

先輩の声



品質管理部 試験課
2013年入社 / 工学部 / 生物工学科卒

仕事内容

医薬品製造に使用する原料から製品の理化学試験や微生物試験を担当しています。

やりがい・喜び

会社に入ってから微生物試験の知識を深め、今では分析法開発の仕事に任されるようになりました。プレッシャーはありますが、やり遂げた時はこの上ない達成感を味わえます。

当社のおすすめポイント

若手でもやる気を示せば新規プロジェクトや試験法作成を担当でき、自分の成長を肌で感じることができます。

激動する世界の医薬品業界の中、 私達は皆様の多種多様なご要望にグローバル・スタンダードで お応えできるものと確信しております。

弊社は、昭和25年 抗ヒスタミン剤をはじめとする 局方医薬品の製造を目的として設立され、
昭和31年 モノクロル酢酸製造を契機に、有機中間体分野に進出いたしました。
その後、シアノ酢酸エステル、マロン酸エステルといった 特殊中間体と、
そこから誘導されるピリミジン、プリン類のヘテロ環化合物等を製造する中で、
さまざまな有機合成工業化技術の蓄積をはかり、
高付加価値中間体の受託生産業務へと、事業の拡大を図ってまいりました。

そして今、世界の製薬企業では アウトソーシング化が潮流となっており、さらに その速度は増しているように思われます。
このような状況下において、弊社は 世界の製薬企業の生産基地としてのファンクションを果たすべく、
多品目の生産が可能な最新鋭のGMP適合原薬製造工場を建設、
ソフト面だけではなくハード面でもより一層 品質保証体制の充実をはかりました。
それに加え、これまでに培った 有機合成工業化技術を背景に、
治験薬GMPに対応した 小生産プラントとの連携により、
新薬開発段階からコマーシャル生産までのシームレスかつスピーディなサービスの提供が可能となり
多くのお客様からの信頼を獲得しております。

激動する世界の医薬品業界の中、私達は 時代の要請に応じて、常に進化を続けてきました。
しかし、業界内の競争はさらに厳しさを増していくものと考えられます。

「自社の創出する付加価値を通じて人々の健康に貢献する」という企業ミッションのもと、
現状に満足せず、既存の概念にとらわれない新しい価値を
生み出し続けられる文化を作ることで企業の競争力を高めていきたいと考えております。

弊社の理念に共感し、その実現に向けて、仕事を愉しみ、
仕事を通じて自己成長を志向される皆さまとお会い出来ますことを楽しみにしております。

取締役社長 **宇川 敏夫** 専務取締役 **廣田 大輔**



会社概要

社名	十全化学株式会社 JUZEN CHEMICAL CORPORATION
創業	1950年11月16日
資本金	6,500万円
役員	取締役会長：廣田 晃 取締役社長：宇川 敏夫 専務取締役：廣田 大輔 常務取締役：廣川 誠 取締役：鈴木 敏久
事業	医薬品事業／医薬品原薬 及び その重要中間体の受託製造 試製品事業／治験用原薬等の試製受託 化成品事業／特殊中間体の受託製造 マロン酸 及び ピリミジン誘導体の製造
事業所	本 社／富山市木場町1番10号 TEL：076-433-1111 FAX：076-432-1165 東京支店／東京都港区虎ノ門2-8-1 虎の門電気ビル3階 TEL：03-3591-7613 FAX：03-3591-7635 工 場／本社に同じ
従業員	238名(製造 112名、研究開発 45名、QU 49名)2016年12月31日現在
認証等	FDA 査察：2000年(JPP-I) 2005年(JPP-I, JPP-II) 2009年(JPP-I, JPP-II) 2012年(JPP-I) 2016年(JPP-I, JPP-II) KFDA(現 MFDS) 査察：2007年(JPP-I) 2012年(JPP-I) AIFA 査察：2012年(JPP-I) ISO14001：2001年認証取得

企業理念

安全安心信頼を第一義とする。

十全化学は、従業員が安全に職務を行い、安心して働ける環境を提供することで、付加価値を生み出し、
お客様からの信頼を得ることを第一義とし、長期にわたる関係性を大切にまいります。

企業ミッション

自社の創出する付加価値を通じて人々の健康に貢献する。

十全化学は、我々が創出する付加価値を通して、心待ちにされている患者様に1日も早く薬をお届けし、
また安定的に供給することで人々の健康に貢献することで社会の一翼を担っていきたくと考えております。

品質方針

常に品質の向上に努め、国内外の顧客の満足と信頼をより確実に得る。

十全化学は、品質の向上を図り、お取引様から満足頂くことで、
強固な信頼関係を構築させていただくことを常に意識し、品質向上活動にあたっております。



研究開発センター



本社全景



東京支店